

## 各セクションの報告・情報

## THE 現場

## たまり場ぱれっと

～わんさか渋谷まつり  
だいせいきょう  
大盛況!!～

6月19日(日)、リフレッシュ氷川にて「わんさか渋谷まつり」を開催しました。140名を超える人達が集まり、様々な楽しいプログラムが行なわれました。

## ●交流ゲーム(なぞときゲーム/スタンプラリー)

3人1組のグループを作り、協力し合っ  
てクリアするプログラムで、なぞときゲーム  
では、様々な変装をした「キーパーソン」  
を探し出し、ヒントをもらって謎を解き、  
見事全ての謎が解けたら景品がもらえる  
というもの。面白い仕掛けがたくさん用意  
されており、頭を使いながら皆、楽しく  
挑戦していました。

## ●巨大ちらし寿司作り

今回のイベントの目玉の一つ「巨大ちらし  
寿司作り」、その大きさはなんと、150cm×  
90cm!4色の色のチームに分かれ、それ  
ぞれ自分の色のところに具材を置いてい  
き、完成させました。味も最高でしたね!



【巨大ちらし寿司完成!!】

●体験ブース(アイシングクッキー作り/  
バルーンアート/フェイスペイント)

バルーンアートは初めてチャレンジする  
人も多く、風船が割れないかとドキドキし  
ながら作っていました。アイシングクッキ

ーも個性豊かなカラフルなクッキーがた  
くさんできました。

●縁日(玉入れ/たたいてかぶってジャン  
ケンポン/輪投げ/わたあめ)

思いの他(?)白熱したのがたたいてかぶ  
ってジャンケンポン。大の大人が本気にな  
ってすさまじい接戦を繰り広げる、という  
場面が幾度となく見受けられました。

●〇〇選手権(フラフープバトル/ストロ  
ーで早飲み/豆つかみリレー/ギネスに  
挑戦「紙飛行機とぼし」)

「挑戦するもの、集まれー!」というア  
ナウンスで始まった選手権。どれもこれも  
簡単そうでやってみると難しいものばかり。  
たくさんの観客が見守る中、何人も  
の強者たちが現れました。

●ステージ(サンシャインダンスのステー  
ジ/Bloomberg L.P.のライブ/Sing!  
恵比寿のゴスペル)

ダンスあり、ライブあり、ピアノ演奏あり  
と、会場全体に素敵な彩を添えてくれ  
ました。特に「Sing!恵比寿」のゴスペルは、  
メンバーがステージから降りてきて、会  
場全員での大合唱!一体感に包まれ、  
大変な盛り上がりの中イベントは終了  
しました。



ご協力いただきました皆さま、本当に  
ありがとうございました!!(そうき)

## おかし屋ぱれっと/工房ぱれっと

～お弁当作りボランティアさん  
ありがとう～

おかし屋ぱれっとの開設当初から、ボランティアさんとメンバーと一緒に昼食の弁当を作る「お弁当作りの日」があります。初めは週1回、最近は月1回のペースでしたが、メンバーが毎回心待ちにしている、25年間途切れることなく続いてきました。しかし今回の移転に伴い調理スペースが取れなくなり、残念ながらこのお弁当作りが終了することになりました。「調理を通してメンバーの自立を促す」「毎日の昼食を持たせる親の負担を軽くする」という目的から始まったお弁当作りがなくなってしまうのは、おかし屋ぱれっと一同とても寂しいです。これまでお弁当作りを通して、おかし屋ぱれっとの歩みも見守り支え続けてくださったたくさんのボランティアの皆様、本当にありがとうございました。(むらい)

## えびす・ぱれっとホーム

～現場を支えるサポーター紹介!!～

清水由美子さんは、えびす・ぱれっとホームの設立当初、2週間ほど料理ボランティアとして関わって下さっていました。その後、在宅のヘルパーやターミナルケア、グループホームの支援員を経て、昨年の暮れからアルバイトとして再び来て下さっています。清水さんは3歳の頃戦災孤児として兄弟や80名程の仲間と共に収容施設で1年程暮らしていた経験があり、そこで乳幼児のお世話をしつつ皆で助け合って暮らしたそうです。その経験がグループホームで仕事をする原点になっていると話してくれました。清水さんの豊富な経験と優しい笑顔は、いまやホームに欠かせない存在となっています。(ないとう)



## ぱれっとインターナショナル・ジャパン

～モヨ・チルドレン・センター  
松下さん再び!～

5月28日の総会終了後、マレーシアでのイベントの報告会に続いて、ケニアでストリートチルドレンの支援を行っている『モヨ・チルドレン・センター』の松下照美さんをお迎えしてお話しを伺う会を開きました。松下さんは2年前のぱれっとの総会後にも、講演会とトークショーにご登壇頂いた方で、今年2月に谷口理事が現地を訪れた際のエピソードや最新の映像などを交えながら短い時間でしたが近況報告をしてくださいました。近いうちにNGOの代表を現地の方に引き継ぐ予定で「いよいよ帰国?」と思いきや、「ケニアに骨を埋める覚悟」ということで今度は農園の運営に乗り出すそうです。相変わらずのバイタリティーに驚かされつつ、その取組は確実に現地を変えていっていると実感しました。(みなみやま)